



## 研究成果発表会

日時：平成17年11月11日(金)  
10:00～17:00  
場所：情報技術部門  
松本市野溝西1-7-7  
TEL: 0263-25-0790(代)

現在の日本経済は景気回復の兆しは見えてきたものの、まだまだ先行き不透明な状態が続いております。このような状況を製造業やサービス業の企業の皆さまが乗り越え発展していくためには、新技術、新商品、新サービスの開発、取得が必要不可欠です。この度、長野県工業技術総合センター情報技術部門では平成16年度に実施した試験研究開発ならびに技術支援等の成果を広く県民の皆さまに発表し、ご活用いただくために、研究成果発表会を開催いたします。

併せて記念講演には、長野県デザイン振興協会常任理事、セイコーエプソン(株)前デザインセンター長 鈴木進氏を迎え、「製造業におけるブランド戦略」を演題に、ご講演をお願いしております。

また、発表しきれないセンターの活動や連携機関等をポスター展示でご紹介するコーナーも設けます。多くの皆さまにご参加いただき、今後の企業活動にお役立ていただきますようご案内申し上げます。

## 記念講演

演題 「製造業におけるブランド戦略」

講師 長野県デザイン振興協会常任理事

セイコーエプソン(株)前デザインセンター長

鈴木進氏

企業の更なる発展、生き残りのため、技術革新と共に企業ブランド、製品ブランドの確立が求められています。長野県においても独自の施策が始まっています。この度、長野県デザイン振興協会常任理事として、またセイコーエプソン(株)前デザインセンター長として、多くの実践と御提言をしておられる鈴木進氏を講師にお招きして「製造業におけるブランド戦略」についてご講演をいただきます。

## 時間

## 発表会スケジュール

10:00	開会 挨拶 長野県工業技術総合センター 情報技術部門長 塚原速雄
10:05	研究・支援成果発表
11:35	昼食休憩
13:00	研究・支援成果発表 センター化と技術連携支援 長野県工業技術総合センター 所長 島田享久
13:15～	記念講演会 「製造業におけるブランド戦略」 セイコーエプソン(株)前デザインセンター長 長野県デザイン振興協会常任理事 鈴木進氏
15:00～ 16:30～	研究・支援成果発表 部門内見学会
9:00～ 17:00 (パネル展示)	2005信州ブランド・アワードの受賞者の紹介 各チーム成果発表 松本創業支援センター利用企業等発表 大会議室ロビー 大会議室 大会議室

- 主催 長野県工業技術総合センター  
 ■後援 (財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター  
 長野県デザイン振興協会  
 (社)長野県情報サービス振興協会  
 長野県ソフトウェア生産性研究会、長野県知的産業技術研究会、長野県電子回路技術研究会  
 松本市、塩尻市、
- 連絡先 情報システムT 青木久夫(0263-25-0790 E-mail aoki@nagano-it.go.jp)  
 URL <http://www.nagano-it.go.jp/jyuhou/>

発表テーマ／発表者	発表時間	概要
各種センサーを利用した水稻の栽培管理支援システムの開発 農事試験場 農業総合試験場 アスザック(株) ○情報システムT 柳沢秀信	10:05～ 10:20	水田の温度、湿度、雨量、濡れデータを観測・記録・解析していもち病の発生予測などの水稻栽培管理情報を提供します。
防災情報通信のための臨時回線用長距離・大容量無線 LAN の研究開発 通信基盤技術T 中村正幸	10:20～ 10:35	免許が不要で大容量通信が可能な無線 LAN について、災害時や防災用として活用できる長距離通信が可能な無線 LAN の研究開発を実施しました。」
EMC 関連設備紹介 通信基盤技術T 窪田昭真	10:35～ 10:50	当部門における EMC 関連設備 (EMI/EMS) を国際規格等に照らし合わせて、ご紹介しします。また、解析ソフトウェアについてもご紹介しします。
次世代携帯端末を用いたリモートメンテナンスの開発 ○通信基盤技術T 高木秀昭 信州大学工学部 新村正明	10:50～ 11:05	インターネットおよび携帯電話を使った、安価で安全なリモートメンテナンス システムを開発ししました。日本と韓国の間で実証実験を行い、基本的な性能が確認できました。
高速ストリーム暗号化を可能にする疑似乱数発生ボードの開発 ○バイテック株式会社 山田 隆 通信基盤技術T 浜淳	11:05～ 11:20	疑似乱数は現代の①コンピュータネットワーク、②通信、③計算機実験などの分野で重要な要素技術となっています。本研究では、ロジスティック写像から良質な疑似乱数を生成する固定小数点演算方式をハードウェア化する研究を行っています。
PIC マイコンを使った C 言語実習の指導事例 通信基盤技術T 長洲慶典	11:20～ 11:35	産業技術大学校講座の「C 言語プログラミングコース」にて、C 言語を基礎から勉強したい技術者向けに、PIC マイコンを用いた C プログラミング総合演習を担当しました。
SAN を用いた映像制作システム新設備と活用事例の紹介 人間生活科学T 桃井貞美	15:00～ 15:15	平成 17 年度に整備した映像関係の新設備の概要を、活用事例を交え紹介しします。FibreChannel によるストレージエリアネットワーク (SAN) を用いた超高速・大容量のシステムです。
除菌等機能付き履物用ロッカーのデザイン開発に関する研究 ○コトヒラ工業(株) 大日方久幸 ○人間生活科学T 長瀬浩明	15:15～ 15:30	ブランド力向上のために取り組んだ自社オリジナル製品の開発と、デザインコンセプトや外観デザインの検討など、ブランディングを意識したデザインワークの概要について紹介しします。なお、本テーマは研究員派遣事業により実施しました。
遠隔医療における視点移動とディスプレイサイズに関する研究 信州大学医学部 鈴木敏郎 ○人間生活科学T 北野哲彦	15:30～ 15:45	遠隔医療に利用されるモニターのサイズによる違いを視線計測を用いて評価した。9 人の医師による実験を行い、視線データを計測し、その解析を行った。その結果、注視範囲および眼球の移動速度に顕著な違いがありました。
ドビー織機による織物開発事例 材料技術部門 北沢修治 那美屋織物 小栗弘平 ○人間生活科学T 沖智明	15:45～ 16:00	織機には、たて糸制御、ヒ替制御がありますがヒ替制御を ROM により制御して開発した織物について紹介しします。
植物染料の抗菌性 人間生活科学T 三村温子	16:00～ 16:15	草木染めに使われる植物染料には薬用など自然の機能のあるものが多いといわれています。そこで、「JIS「繊維製品の抗菌性試験方法」を用い、植物染料の抗菌性を追究しました。
ネットワーク機器の紹介 情報システムT 相澤淳平	16:15～ 16:30	平成 17 年度に整備した部門内ネットワークを構成する機器について解説しします。通常業務・実験用ネットワークですが、IPv6 対応やセキュリティ対策の強化を図っており、新規格への移行事例、セキュリティ対策の構成例としてご紹介しします。

参加申込についてFAXかメール(info@nagano-it.go.jp)でお願いします

発表会参加申込書 FAX 0263-26-5350

貴社(団体)名	業種
住所	
TEL	FAX
E-mail	
部署名・役職	氏名
部署名・役職	氏名
部署名・役職	氏名

